

『小国公立病院公式ホームページ』をリニューアルしました!!

現在、インターネット環境は日本の生活において、ごく当たり前存在し、特に若い人においては無くならないツールとなっております。当院でも以前よりホームページを作成・公開しておりましたが、この度、小国公立病院公式ホームページをリニューアルしました。

主な内容は、病院内の診療科・各部署の紹介や、常勤医師・専門スタッフ・休診のお知らせ・求人案内・看護学生奨学金制度などのお知らせを掲載しております。

また、小国町・南小国町のホームページはもちろん、様々な連帯をしている熊本大学病院や熊本赤十字病院・医師会・等へのリンク集も充実させ、小国公立病院公式facebookとの連帯しております。

作成中のページも一部ございますが、今後は定期的に内容を充実させてまいります。

小国公立病院から全世界へ向けて情報発信ツールの一つとして重要な役割となる事でしょう。

[小国公立病院]で検索し是非ご覧下さい。

ホームページアドレス URL
<http://www.ogunihp.or.jp/>

小国公立病院 検索



クリック!!
 Click!!
 ぽちっ!!



ゆたあ〜と

発行

小国公立病院
0967-46-3111

おぐに老人保健施設
0967-46-6111

訪問看護ステーション
0967-46-6050

小国調剤薬局
0967-46-5736

ゆう薬局
0967-46-6320

9月号
平成28年9月

夏場の薬の注意点について

小国調剤薬局 薬剤師 岡本茂洋

今回は、夏場に気をつける薬の注意点についてお伝えします。

夏の特徴である強い日差しと暑さは脱水症状など体の不調を招きやすいものです。脱水症状においては、水分不足、血液中の電解質不足、血液濃縮により問題が起ります。この点において副作用の可能性、重篤度が高まる薬剤として血糖値を下げる働きを持つ薬があります。

薬剤によって差異はあるものの、低血糖や電解質異常を起しやすいためがあります。脱水症状を起さないようこまめな飲水、最低限の塩分補充を心掛けて下さい。



ちなみにこのような状態での塩分を含めた水分補給に適した飲料(オーエスワン®、アクアソリタ®)なども市販されていますので、必要に応じて活用されてみて下さい。

また、強い日差しからくる紫外線によって起りやすくなる副作用として「光線過敏症」が挙げられます。「ケトプロフェン」という鎮痛剤の成分を含む湿布薬、塗り薬を使用している部分(貼付剤で4週間程度皮膚に成分が残留します)に紫外線を浴びることで、ひどい場合は水疱を形成して皮膚がただれてしまうことがあります。

対策としては該当部位に紫外線II日光を浴びないこと、服などで被覆しておくことが有効です。また、夏場には光線過敏症を起しにくい成分を使った湿布薬などを医師に選択してもらうことも有効な対策と言えます。

以上に該当する薬をお使いの方は、むやみに恐がって服用を中断するようなことはせず、医師や薬剤師に相談したり、対策を上手に使うお薬と付き合ってください。

漢方が得意とする病気や症状(その2)

総合診療科 山田 治行

《原因がはっきりしない病気》

「胃の調子がすぐれないので検査をしたが、異常はないといわれた——」

こういった日常的によくみられる症状だけ原因がわからない、つまり「部品の故障」が見つからないときも、漢方の出番です。



《カゼ症候群》

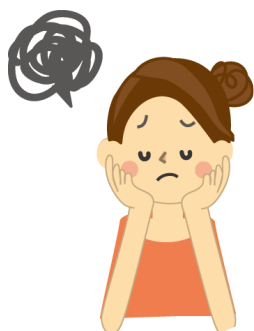
西洋医学におけるカゼの治療は、熱、頭痛、鼻水、咳など、それぞれの症状を緩和するだけの対症療法しかありません。体力のある人なら総合感冒薬を飲んでうちに治癒してしまうでしょう。



しかし、もともと虚弱体質だったり、カゼ薬で胃が荒れてしまう人、嘔吐や下痢のひどいとき、高齢者や妊婦さんなど、いろいろです。漢方ではその時々個人の体質や体調を把握(証を決める)し、それに応じた漢方薬(方剤)を選択する(随証治療という)ことで、個人の免疫力を高める方向で治療します。

《体質に関連する症状》

胃腸(又は体)が弱い、カゼをひきやすい、冷え症、ほてり、のぼせ、月経に関連した症状、更年期障害など、西洋医学が苦手とする諸症状の多くは体質と関係があります。これらも漢方の得意とするところですよ。



おぐに老人保健施設 夏祭り



一夜限りの病院スタッフによる演奏 おぐたん?? きよらスキー??の登場!!



食事も余興も楽しんで頂けたようです



総合司会者の浴衣姿が新鮮!!

ハーラウ・フラ・ナー・プア・ウィ・オ・クマモト様によるフラダンス



毎年恒例の行事「老健夏祭り」が8月5日に施設内で行われました。老健スタッフ一同、入所利用者様とご家族様への感謝の気持ちを込めて、準備しました。

高村電器楽団やハワイアン、小国公立病院の先生方による演奏、魚釣り大会、抽選会など楽しい余興もあり、皆さん大変喜んで下さいました。



魚釣り大会。いっぱい釣れたでしょうか?



高村楽団による演奏 &マジックショー

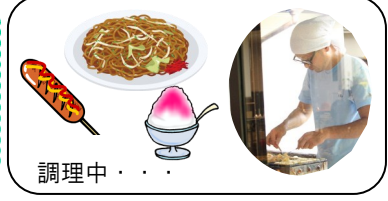
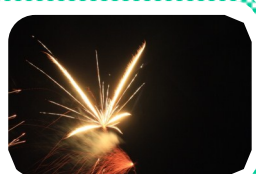


焼きそばやたこ焼きを家族と一緒に食べ、久しぶりのビールを飲んで、良い気分になっていた入所者の方も数名いらっしやりました。

最後には花火もあり、とても良い夏の思い出となったことと思います。ボランティアで参加された皆様、ありがとうございました。



花火大会



調理中

職員川柳



番外編~ゆたあ~とクイズ

さて・・・誰の右腕でしょうか？



正解は・・・坂本院長です。現在はギプスも外れ、順調に回復中です!!

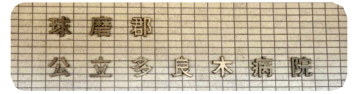
次回、11月1日(火)発行予定です。お楽しみに!!

公立多良木病院との感染対策地域連携カンファレンスの報告

感染対策委員会 副委員長 有住将尚



当院では、これまでは熊本赤十字病院と感染対策について連携を取っておりましたが、この度、新たに公立多良木病院とも連携させて頂くことになり、7/15~16の2日間で地域連携カンファレンスを公立多良木病院にて行いました。



公立多良木病院とは以前より看護師の派遣(赤池看護師および尾上看護師)など、様々な面で連携をさせて頂いておりましたが、今回は感染対策の地域連携施設としてタッグを組むこととなりました。

当院から堀江副院長・吉村医師・松原外来師長・浅海看護師・嶋崎看護師・松原医事係長・有住検査技師の7名が参加しました。



また、当院の他にもあさぎり町の東病院の感染対策委員もご参加頂き、アイデアやアドバイスを通し、感染対策に関する現状報告や問題点、コスト対策など、様々な意見交換をさせて頂きました。次回は、小国公立病院にて開催を予定しています。



また、熊本赤十字病院ともこれまで同様に連携を継続しております。地震の影響で5月開催予定だったカンファレンスが7月に延期となり、地震などの災害時はどうしても外傷患者に集中しやすく、断水や停電など日頃の感染対策が十分に発揮できず、他施設様でも苦慮された状況など、災害時の感染対策について協議を行いました。